

会長通信 No. 20

2017年5月18日

(一社) 岩手県中小企業診断士協会

会長 宮 健

目次

1. 1月以降の主な動き
2. 29年度定時総会の開催予定
3. 新入会員の紹介

1. 10月以降の主な動き

- ① 1月5日(木) 「会長通信 No. 19」発行
- ② 1月5日(木) 盛岡商工会議所新年交賀会に宮会長出席
- ③ 1月21日(土) いわて実践診断士の会(勉強会、交流会)
- ④ 2月21日(火)~22日(水) 岩手県中小企業団体中央会「いわて中小企業・ビジネス交流フェスタ」に宮・山火・土岐・工藤参加
- ⑤ 3月25日(土) いわて実践診断士の会(勉強会、交流会)
- ⑥ 3月27日(月) 東北財務局「地域密着型金融に関するシンポジウム」に山火副会長参加(仙台市)
- ⑦ 4月22日(土) 理事会開催。理事6名、監事2名参加
- ⑧ 4月26日(水) 岩手県再生支援協議会総会に宮会長出席
- ⑨ 4月29日(土) いわて実践診断士の会(勉強会、交流会)
- ⑩ 5月13日(土) いわて実践診断士の会(勉強会、交流会)

2. 29年度定時総会は5月27日(土)開催予定

すでにご案内していますが、29年度の当協会の総会を5月27日(土)に開催します。皆様多数の参加をお待ち申し上げます。

開催日時：平成29年5月27日(土)15時～

開催場所：岩手県民会館第3会議室

基調講演：テーマ：「岩手県の中小企業施策について」

講師：県商工労働観光部経営支援課総括課長 高橋 毅 氏

なお総会終了後、恒例の懇親会を「大手先」にて開催予定です。

3. 新入会員の紹介

1月以降に新加入会員3名をお迎えしました。次ページ以降の「新入会員のご挨拶」等をご覧ください。(以上)

岩手県中小企業診断士協会の皆様へ

皆様、はじめまして、加藤隆史(かとうたかふみ)と申します。2016年9月に養成課程(日本生産性本部)を修了し、2016年10月に中小企業診断士として登録されました。岩手県中小企業診断士協会には2017年2月に入会させていただきました。これからどうぞ宜しくお願い致します。

出身は陸前高田市で、2011年の東日本大震災では幸い家族は皆無事でしたが、街も人も自然も甚大な被害を受けました。陸前高田市では震災により人口が約15%減少し、被災地域が復興し、地域が活性化していくためには、地元企業が再建・発展し、雇用を創出していく事が必要不可欠です。そこで、私にも地元企業の復興、活性化の力になれる事はないか考えるようになり、中小企業診断士の学習を始めました。

私はこれまでヤマトホールディングスのグループ企業に11年間在籍しており、システムエンジニアとして社内向けクラウドサービスやグループ企業Webシステムのインフラ構築・運用を主業務として従事してきました。その後、2016年10月に父が経営する運送会社へ入社するため陸前高田市へ帰郷し現在に至りますが、IT業界から運送業界への転身で右も左も分からず、新人として毎日学習の日々が続いています。

IT業界から離れたものの、東日本大震災の際にはGoogleがいち早く避難所マップ、パーソンファインダー等のWebサービスを立ち上げ、IT活躍の場の広さ、可能性を感じさせられました。そのため、現在従事している「物流」だけではなく「IT」にも強みを持った中小企業診断士として、地元企業を支援する活動をしていきたいと考えています。目標としては定性的なものとはなりますが、経営者に信頼される診断士になる事です。どの業種においても経済・社会動向、法改正、消費者の嗜好など環境の変化から避ける事は出来ず、常にその変化に対応して経営の舵を切っていく事が求められますが、その際に経営者から頼っていただけるような診断士に成長し、県内企業の発展に貢献していきたいと思えます。

中小企業診断士として登録したばかりで実績が無く、仕事の上でもコンサルティング経験がないため、岩手県中小企業診断士協会の諸先輩方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

岩手県中小企業診断士協会の皆様へ

皆様はじめまして。小笠原彩斗(おがさわらあやと)と申します。

この度は岩手県中小企業診断士協会に入会させて頂きまして、誠にありがとうございます。
盛岡市出身、盛岡市在住、年齢は31歳で診断士資格は平成26年10月に取得しました。

株式会社東北銀行に勤務しており、入行後、宮古支店～本宮支店～融資部を経て、現在本部営業推進部門の一員として、お取引様と営業店のサポートを行っています。

また、東北銀行に勤務する傍ら、岩手県よろず支援拠点のコーディネーターも拝命しており、日々地域の中小企業様の発展に微力ながら尽力しております。

中小企業診断士を目指したきっかけは、宮古支店時代に経験した東日本大震災です。多くの取引先が被災する中、何もできない自分の無力さを痛感致しました。「本当に困った時に、少しでも地域の役にたつ人間になりたい」という思いのもと、資格取得を目指して参りました。

中小企業診断士としても、地銀マンとしてもまだまだ勉強不足ではございますので、宮会長をはじめ、岩手県中小企業診断士協会の諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

平成29年5月

小笠原 彩斗

中村 健 プロフィール

2017年4月10日

生年月日 昭和31年(1956年)5月5日
最終学歴 東京都立大学法学部政治学科
職歴 昭和55年(1980年)4月 財団法人岩手県中小企業振興公社 入社
平成12年(2000年)4月 財団法人いわて産業振興センターに統合合併
平成29年(2017年)3月 定年退職

業務経験

金融業務	設備貸与の審査及び債権管理 高度化スキーム貸付の立ち上げ
情報化支援	情報化(IT化)の相談対応と情報化に関するセミナーの企画運営 実験的なショッピングモール「いわて☆おでんせ☆モール」の企画運営
経営支援	一般的な経営相談の相談対応及び専門家への橋渡し
取引支援	ものづくり企業の受発注斡旋業務(特に自動車関連産業) 工程改善業務
総務業務	公益法人移行手続き及びこれに伴う諸規程の整備 人事、労務管理、財産管理等総務業務
システム化	取引支援業務のシステム化(Accessを使用し、設計・開発・運用まで) 金融業務のシステム化(要件定義まで、開発は外注)
基本戦略策定	「センターあり方検討会」を主宰し、センター基本戦略を提言

岩手県中小企業診断士協会への入会のきっかけ・目的

いわて産業振興センター在職時は、様々な企業支援を経験することができました。このたび、定年退職を契機に、今までの経験を活かし中小企業診断士として企業支援に携わりたく、独立することとしました。

ただ、今までと違い、国・県の施策情報や診断手法など情報の入手が難しくなりますので、他の診断士の方々と交流して多様な情報交換を行い、自身のスキルアップを行うことが目的です。

以上